

○福岡県

復興支援福岡

久留米市、大牟田市

水害から1ヵ月以上経った時点でも、まだ基礎に水が溜まっている、木材が湿っている、カビが発生しているというお宅が数多くあり、住民の方々に対処方法とボランティアによる作業内容の説明をさせていただきました。住民の方々は当初不安そうにしておられましたが、活動後には「これで安心して生活できる」という言葉をいただきました。

● 寄付者へのメッセージ ●

皆様からのご寄付により被災された方の生活不安を解消することができ心から感謝いたします。私共に思いがあっても、ご寄付がなければ実現できませんでした。



○大分県

鶴の恩返し

玖珠郡九重村

資機材を地元のかたへ貸出もしつつ、団体は復旧が遅れているところが出てこないよう心がけて活動を行いました。若いころ重機を扱っておられたという地元のかたへ重機の指導をお願いすると、活き活きと活力が戻ってこられました。炊き出しも行いながら助け合いの精神を伝えるなかで、徐々に地域の助け合いの気持ちが高まったように感じています。

● 寄付者へのメッセージ ●

県内に限定する必要があり支援者も少なかったのですが、ご寄付下さった皆様と共に活動をしていることを強く感じ、心強く活動に取り組むことができました。



赤い羽根 「災害ボランティア・NPO活動 サポート募金」令和2年7月豪雨 (ボラサポ・令和2年7月豪雨) 報告 Vol.2

「支える人を支える」しくみ

寄付実績

「ボラサポ・令和2年7月豪雨」では、多くの企業・団体・市民の皆さまからのご協力を頂きました。多大なご協力をいただきありがとうございました。

寄付総額 1億 4290 万 9639 円
助成決定総額 9885 万 0000 円
事業費 1482 万 7500 円
繰越額 2923 万 2139 円

* 繰越額は、次の災害の支援に充てさせていただきます。

またボラサポでは災害発生に備えるため常時ご寄付を受付しております。引き続きご支援お願いいたします。

■ 寄付金の受入口座 ■

三井住友銀行 東京公務部 普通預金 口座番号 0162585 口座名 ● 社会福祉法人中央共同募金会

※ 三井住友銀行 本支店間内のみ送金手数料が免除となります。

※ ボラサポへの寄付金は、社会福祉法人（特定公益増進法人）への寄付金として税制上の優遇措置（所得税、法人税）の適用対象となります。

< 根拠法令等 > 所得税法第 78 条 法人税法第 37 条

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」令和2年7月豪雨 （ボラサポ・令和2年7月豪雨）
報告 Vol.2

発行 2021年 6月

社会福祉法人 中央共同募金会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

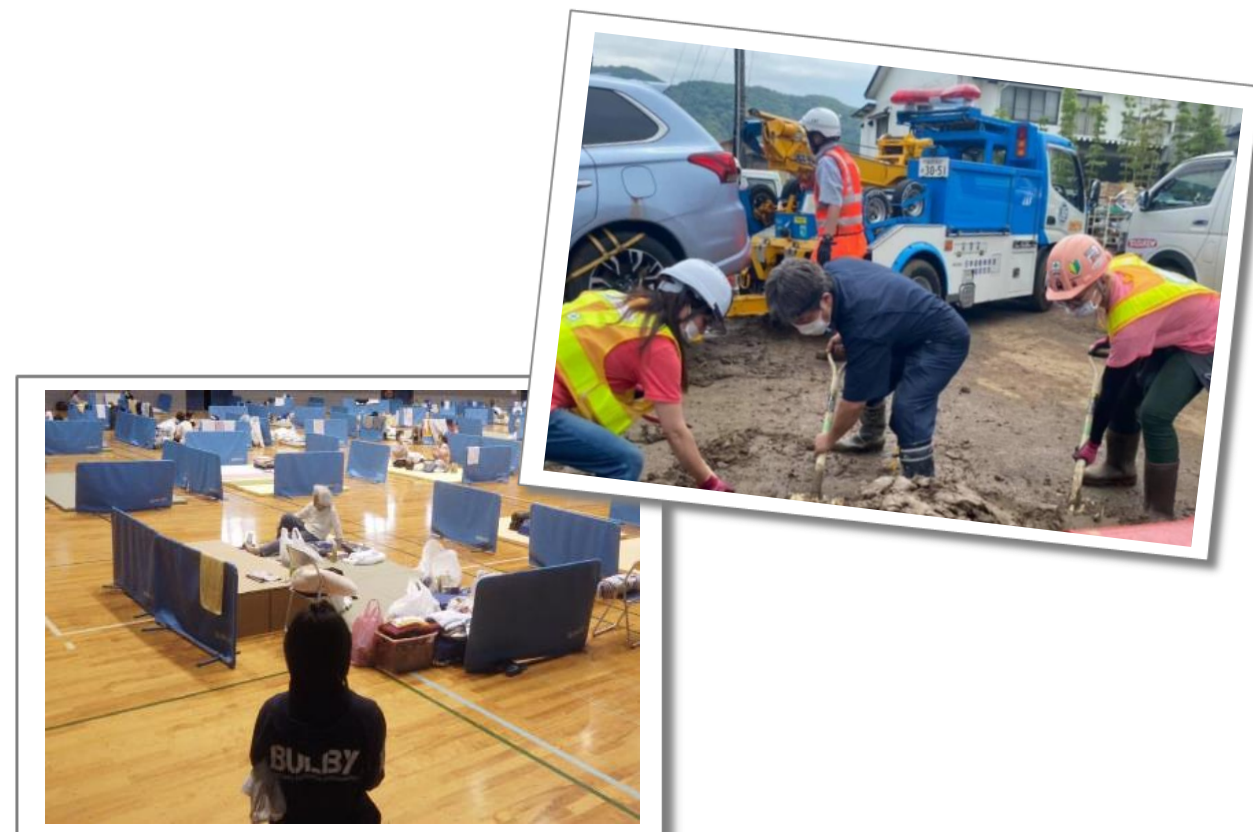
Tel ● 03-3581-3846 Fax ● 03-3581-5755

メール ● kikin@c.akaihane.or.jp

ホームページ ● <https://www.akaihane.or.jp/>

赤い羽根Facebook ● <https://www.facebook.com/akaihane>

中央共同募金会Twitter ● @akaihane_chuo



社会福祉法人 中央共同募金会

ボラサポ・令和2年7月豪雨とは

2020年7月3日からの大雨により、九州地方をはじめ広範囲にわたり甚大な被害が生じ、非常に広範な地域で河川の氾濫や家屋の浸水、土砂崩れなど、人的被害を伴う被害が多数発生しました。

この豪雨災害により亡くなられた方々に心よりお悔み申し上げます。また被害を受けられた方々には謹んでお見舞い申し上げます。被災された方々と被災地域の復旧を心よりお祈り申し上げます。

この豪雨災害により9県98市町村に災害救助法が適用されるとともに、7県28市町村で災害ボランティアセンターが開設され、ボランティアグループやNPO等による救援・復旧・復興のための支援活動が行われました。新型コロナウイルス感染症拡大が収まる気配がないなかにあっても、被災家屋の復旧や仮設住宅でのコミュニティづくりなど、支援が必要な被災者の生活を支えるため、感染予防を強化しながら、ボランティアによる被災者支援活動が継続されてきました。

この状況を受け中央共同募金会においては、令和2年7月3日からの大雨による災害に伴う「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」（ボラサポ・令和2年7月豪雨）の第2回ならびに第3回助成応募受付を行い、各地でボランティア活動を行うボランティアグループやNPO等を資金面で支援し、被災地と被災者を支える活動に助成を実施して参りました。

助成概要

9月4日から開始した第2回助成公募では、41件、総額1億496万円の応募がありました。第1回助成公募では短期活動のみの応募でしたが、第2回助成公募では短期活動に加え中長期活動の応募も受付を行いました。発災直後に実施された活動も遡って応募を受付けることとしたため、一番多かった活動内容は「被災家屋の片付け補助」でしたが、続いて「被災者同士のつながりの再生やコミュニティづくりのため活動」、「避難所、仮設住宅、在宅被災者などのための生活支援、見守り活動」といった復旧・復興に向けた活動の応募も多くみられました。応募案件について審査基準に基づき応募内容の審査を行った結果、27団体、総額5,248万円の助成を決定しました。

また、12月16日から開始した第3回助成公募では、26件、総額6,747万円の応募がありました。第3回助成公募においては、被災された住民の方々への新型コロナウイルス感染のリスクを回避する観点から、被災地域の行政、関連機関等が公表するボランティア活動に対する注意喚起、意向をふまえ、「被災地の自治体・社会福祉協議会ほか公共的機関等からの支援要請があること」を要件に、被災県外団体に対しても公募を行いました。一番多かった活動内容は「被災者同士のつながりの再生やコミュニティづくりのため活動」となり、続いて「被災家屋の片付け補助」、「避難所、仮設住宅、在宅被災者などのための生活支援、見守り活動」となり、依然として家屋被害への支援が必要な状況が続きながらも、徐々につながりや生活の再生に向けてシフトしていく様子が伺えました。同様に応募案件について審査基準に基づき応募内容の審査を行った結果、20団体、総額3,637万円の助成を決定しました。

発災から1年が経とうとしている現在もなお、多くの団体が被災地と被災者を支える活動を継続しています。

■ 助成状況（全体状況）

2021年5月31日現在

	応募		助成決定		
	件数	助成額 (万円)	件数	助成決定額 (万円)	採択率 (%)
第1回(短期)	34	1,589	25	1,000	73.5
第2回(短期)	1	42	1	42	100.0
第2回(中長期)	40	10,454	26	5,206	65.0
第3回(短期)	2	93	2	64	100.0
第3回(中長期)	24	6,652	18	3,573	75.0
合計	101	18,830	72	9,885	71.3

活動事例

「ボラサポ・令和2年7月豪雨」の助成を受けて実施された活動の一部をご紹介します。

○熊本県

人吉市、八代市

ロハス南阿蘇たすけあい

今回の活動では他県からのボランティアさんが参加することが難しく、活動人数もこれまでより少ない人数での活動になりました。その為、他団体と情報交換し、ニーズ調査をこれまでよりさらに徹底して行い、緊急対応を要する場所から活動しました。また、熊本地震でつちかった地元の団体との連携が、今回の水害にとっても役立ちました。

● 寄付者へのメッセージ ●

年々災害が増え被害の規模も大きくなってきております。我々が活動を継続できるのも、皆様の寄付のおかげです。心より感謝申し上げます。



熊本地震で被災した家屋の復旧作業の様子。

人吉市

熊本私学教育支援事業団

地元では、コロナの影響で休校した上に水害でも休校となり子どもたちの勉強が遅れていることに不安の声がありました。また家屋復旧が続く中、子どもたちの居場所がなくなり食事思うように採れない子どもたちがいることを知り、サポートの必要性を感じ学習支援活動を開始しました。たくさんの子どもの話を聞く時間も設けることができました。

● 寄付者へのメッセージ ●

被災地の子どもたちへの心のケア、学習のサポート、一緒に遊ぶこと、食育のサポートが必要です。この度は多くの寄付を頂きありがとうございました。



熊本地震で被災した家屋の復旧作業の様子。

人吉市、八代市

バルビー

熊本県では新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑み、県外からの支援団体受入れが懸念され、県内団体で支援を行う方針となりました。各市町村の行政や社協を訪問、被災状況の記録、避難所等の状況調査を実施し継続して情報共有を行ったことで、Web参加の支援団体等も県外からできる支援の可能性を広げることができたとの声をいただきました。

● 寄付者へのメッセージ ●

みなさまからの暖かいご寄付とお気持ちのおかげで、県内の被災地域の支援のため県内団体としてできる活動を行うことができました。心から感謝いたします。



熊本地震で被災した家屋の復旧作業の様子。

八代市

球磨川アドベンチャーズやつしろ

県内ボランティアによる泥出し・家財出し作業を早い段階から行い、情報の不足する八代市坂本町の住民への支援にあたりました。その後も、八代市災害ボランティアセンターや他の支援団体との連携を図りながら半年間ほぼ毎日活動を継続し、時間の経過によって変わっていくニーズに応えることが出来ました。

● 寄付者へのメッセージ ●

皆様から寄せられたあたたかいご支援、心より感謝申し上げます。寄付金はニーズに合った支援に形を変えて、被災された皆様へ提供させていただきました。



熊本地震で被災した家屋の復旧作業の様子。